

[活動のタイトル]	電動工具の点検方法の見える化			<見える化の分類>
[現場名・作業所名]				安全性の見える化
[支店名]	[所属部課名]	[現場代理人氏名]	[実施期間 年 月～ 年 月]	
			年 月～ 年 月	

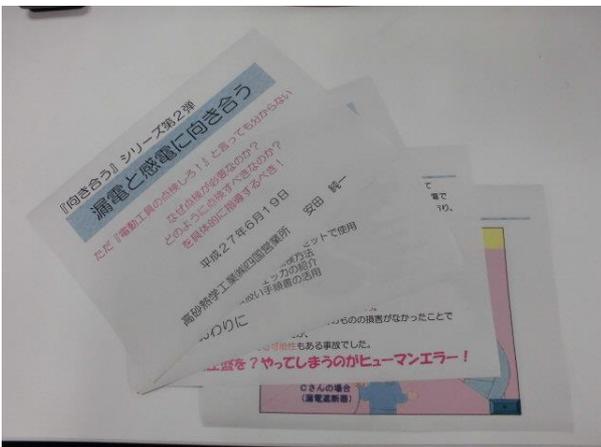
<活動の概要>

- 目的(課題)
パトロール時に『電動工具の点検をすること』と若手社員や協力会社に指導するも、具体的に点検する方法を提示することは少ないのではないかと懸念を持った。
- 手段(実施内容)
そこで、電動工具の点検方法資料を作成し、掲示および教育資料を作成することで見える化した。
- 効果(実施内容によって期待される効果)
電動工具の点検方法を見える化することで、点検方法が明確になり、電動工具による感電災害防止が期待される。
- 結果(活動の成果)
電動工具の点検方法を見える化したことで、電動工具の点検不備が無くなった。又、社員自ら点検を行い、ダブルチェックを行った。

<活動の詳細内容>

[活動のタイトル]

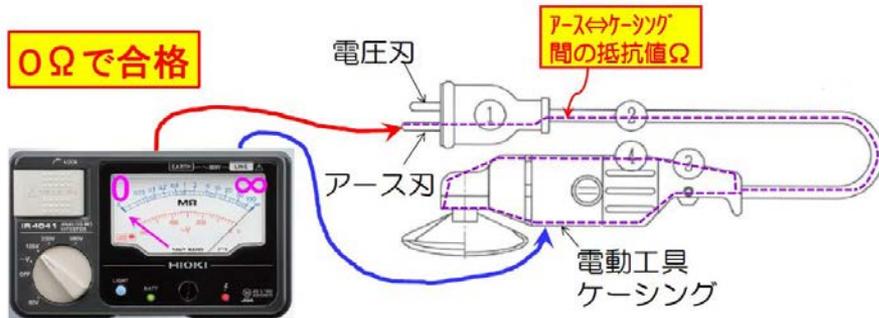
電動工具の点検方法の見える化



手持工具の点検方法

①アースが断線していないか調べる

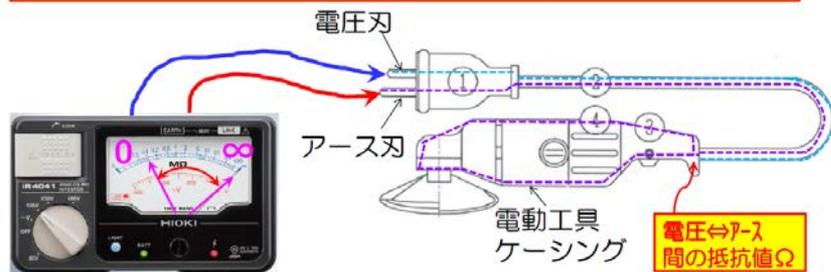
※漏電しても電流がアースに逃げるかを確認!



手持工具の点検方法

②ケーシングに漏電していないか調べる

100V機器⇒0.1MΩ以上
200V機器⇒0.2MΩ以上 で合格(∞に近い程良い)



点検する理由・方法を分かり易く指導する事が大事!